

令和4年度 第2回 飯田小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年10月24日（月） 13時50分から15時05分まで
- 2 開催場所 飯田小学校 会議室
- 3 出席委員 森峯男、小野逸子、白井竜之、松山岳史、鈴木大輔
- 4 欠席委員 杉山 邦司、露木里江子、間瀬ちづみ
- 5 学 校 生熊周（校長）、町田全広（教頭）、小林知美（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
  - （1）議長の選出について
  - （2）学校運営の課題とその解決策について
  - （3）学校運営に必要な支援について
- 9 会議録作成者 CSディレクター 小林知美
- 10 会議記録

司会の教頭から、委員総数8人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

教頭から議長の選出について委員に意見を求めたところ、森委員から鈴木委員を議長に推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）学校運営の課題とその解決策、学校運営に必要な支援について

生熊校長からプレゼンテーション資料に基づき、学校運営の課題とその解決策、必要な支援についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ ボランティアは、誰でもいいでは不安だ。安心安全を考えると知っている方、学校とつながりのある方やその紹介者に入ってもらったらどうか。みなさん、どうですか。（鈴木委員）
- ・ 以前（コロナ前）は、交通教室の時、3～6年生の自転車の乗り方を交通安全協会東支部の中からメンバー6人が当日サポートしていた。飯田街道は、危険で見ていてハラハラすることが多い。やはり以前のように運動場を使って自転車の安全な乗り方のサポートができたらと思う。（森委員）
- ・ 交通安全に関わることで、メンバーの方にも募集をかけ、協力してもらいたい。（鈴木委員）
- ・ 下校時、男の子の集団の1人が、道でガラスを拾い、田んぼに捨てた。ガラスが田んぼを管理している人にとって、どれだけ危険か知らない子が多い。声を掛け、一緒に入って探した。すると、一緒にいた子達が進んで一緒に探してくれた。自分たちから協力してくれる姿が見られてうれしかった。（小野委員）
- ・ 今の世の中、他人の子への声掛けは、なかなか難しい。身辺が確かな小野さんみたいな人がやってくれるのは有り難い。（鈴木委員）
- ・ ボランティアをするにしても、どんなミシンを使っているか、どういうことをサポートすればいいか知らないと協力しにくい。（小野委員）
- ・ 機械の使い方等を教えてもらわないとサポートできないから、打合せが必要だ。（鈴木委員）

- ・ 知り合いの子が親のいない時にミシンを使ってけがをした。少くくらいケガをすることで学ぶことがあると思うが、今はそれも難しい。(小野委員)
- ・ けがをすると先生の負担が増える。(鈴木委員)
- ・ 学校を支援するバックアップ集団を作れたらいい。色々な人がいることが大事。様々な場面に対応でき、機能することが一番いい。ぼくは、ミシンはダメだが、理科の補助はできる。子供の命・ケガをさせないよう補助することプラス、色々な能力差のある子への対応ができる集団。個の力をつけさせつつも、子供同士助け合える集団の力がついてくるといい。(白井委員)
- ・ 会長さんや露木さん、村松さんの力も借りて支援のバックアップ集団にも色々な人を登録してもらい、協力していただきたい。PTAでも人集めの声掛けはできますか。(鈴木委員)
- ・ PTAの各委員に仕事として振ることは難しい。今、PTAの仕事を減らして、負担無く活動してもらおうようにしている。増やせば、PTAの仕事を進んでやってくれる方が減る。ボランティアの気持ちがある方の登録制がいい。協力したいという人もPTAにはいる。まずは登録し、やりたいことに手を挙げてもらい、平日に体験してもらい調整できるのではないか。(松山委員)
- ・ 確かに平日やっていただける方は限られてくる。学校に在籍している子の祖父母にも声を掛けたら協力してもらえないのではないか。学校と事前の打ち合わせが大事。サポートする団体を作り、学校の要望、支援内容に照らし合わせて声を掛けていくといい。(鈴木委員)
- ・ 学校として、サポートしていただけたら子供の活動が更に充実する。そのためには、まず、授業を見ていただく。実際のお手伝いの内容を知らないと思う。お互いにWIN—WINの関係になるようにしていきたい。(校長)
- ・ すぐにはできないだろうから、2、3年かけてやっていったらいい。田んぼは今年もやっていますか。(白井委員)
- ・ 今年は、PTAが段取りをし、職員が子供を見て、田んぼに入りたい子が入って行くことができた(校長)
- ・ やる方は大変だが、やりがいはある。(白井委員)
- ・ 意識を持ってやっていただける方に協力してもらおう。学校には、受け入れ態勢を整えてもらおう。(鈴木委員)
- ・ やっていただける方にやっていただきたい。サポートする方もされる方も目の輝きが違ってくる。(校長)
- ・ 幅広く声を掛け、やってくれる方を募集していきたい。(鈴木委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和5年2月10日(金)13時30分から、開催する予定である旨の報告があった。